



IIXIL デッキ (ステップ含む) 取付け説明書

●この説明書は必ず、取付けされる方にお渡してください。

■取付けされる方へのお願い

- 同梱されている取扱い説明書は、必ずお施主様へお渡してください。
- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲ 注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲ 注意

※製品の破損および落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

■施工前のご注意

●設置条件

- ・本製品は、一般住宅の地上階に取付ける商品です。
それ以外の場所へは取付けないでください。
- ・給湯器や暖房機などの熱排気が、製品に直接あたらないように施工してください。
熱による部材の変形・劣化のおそれがあります。

●施工前の調査について

- ・施工前に地下埋設物（給水管など）に影響を及ぼさないか調査を行ってください。

■施工上のご注意

●基礎について

- ・基礎石は当社指定寸法以上のものを使用し、設置してください。

●組立て・施工について

- ・みだりに改造、変更をしないでください。
- ・束柱の移動範囲は当社指定範囲にしてください。

●部材の固定について

- ・組立てねじ・ボルトは必ず当社指定のものを指定の本数使用してください。
また使用中緩まないように締め付けてください。

※製品腐食のおそれがありますので、下記事項をお守りください。

●絶縁処理について

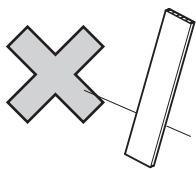
- ・アルミ形材が亜鉛・ステンレス以外の金属と接触するときは絶縁処理をしてください。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{ N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{ kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、緩み・ガタツキのないことを確認してください。
- 正面と側面の幕板取付材は下部を持って皿ドリルねじ $\phi 4 \times 40$ で固定してください。
上部を持つと貫通したねじ先で手をキズつける場合があります。

■組立て・施工上のお願い

- 組立て・施工は専門業者が行ってください。
- 製品の施工については、必ず取付け説明書にしたがってください。
- 水平、垂直は水準器などで正確に出してください。
- 床板の端部と躯体のすき間は10～14mmあけてください。
正面に壁など障害物があるときもすき間を10～14mmあけてください。
- 当社指定の付属部品以外は取付けしないでください。
・人工木材は温度変化による伸縮により長さ若干のバラツキがあります。
施工前に長さをそろえてからご使用ください。
- 製法上、表面にて濃い薄いなどの色の差がでることがあります。
- リサイクル板を使用しているため、材料によってバラツキがあったり、表面に多少の他物質の混入が見られることがありますが、品質には問題ありません。
- 表面の研磨屑により、色移りする場合があります。
- 人工木材の処理について
・人工木材は補強材、ねじを分解して産業廃棄物として処理してください。
- 施工中についた、汚れやキズについて
・モルタルやコンクリートの抽出液が、工事中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性でシミやムラなどの外観不良の原因となります。工中に付着した場合は速やかに拭き取ってください。
・施工についた表面の汚れやシミは、引渡し前に水洗いをしてください。
・中性洗剤をうすめたものを使用した場合はよく水洗いしてください。
・施工についた表面すりキズは、引渡し前に研磨紙で補修してください。表面研磨する場合は、事前の研磨方向に沿って行ってください。
・市販の研磨紙を利用する際は60番の研磨紙を用いてください。
- 設置条件
・施工プランと必要部材がそろっているか確認してください。
・施工場所に寸法的に正しく収まるか事前に十分確認をしてください。
・デッキ本体にデッキフェンス・モダンデッキフェンスを取付けるとき、大引きにあらかじめ専用の部材を取付ける必要がある場合があります。それぞれの取付け説明書を参照して、必要な部材を取付けてください。
- 製品の保管について
・本製品は、木粉入り高密度樹脂製のため、熱変形することがあります。取扱いには十分注意してください。

【材料の取扱い】

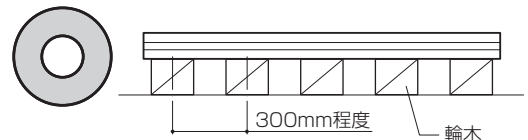
- ・立てかけ保管しないで、平らな場所に保管してください。
- ・直置きせず、水平を保って平積みで保管してください。輪木は、300mm程度のピッチで敷いてください。
- ・暖房機、焚き火近くの高温になる場所には保管しないでください。
- ・製品上に重量物を長時間重ね置きしないでください。
- ・給湯器、暖房機などの熱排気が製品に直接当たらないようにしてください。



●立てかけ



●直置き

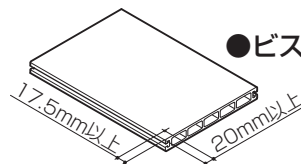


300mm程度

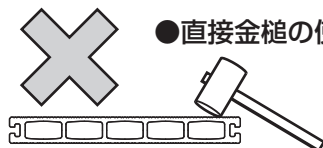
輪木

【固定】

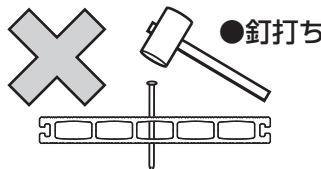
- ・釘・接着による固定はしないでください。
- ・施工時には必ず下穴をあけてください。
- ・ねじ又はボルト・ナット（指定品）で固定してください。



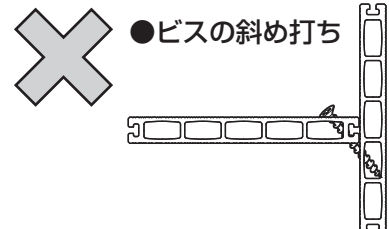
●ビス・ボルトの固定位置



●直接金槌の使用



●釘打ち

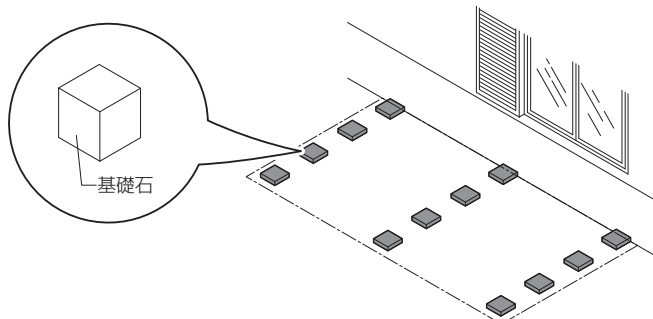


●ビスの斜め打ち

目次

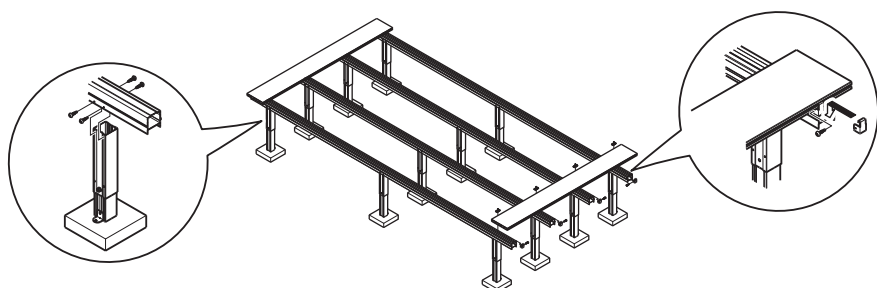
- 梱包明細表 4・5
- 基本断面図 6
- 詳細納まり 7~9
- 本体の施工方法
 - 基礎の施工 10・11

■ 基礎石の埋込み



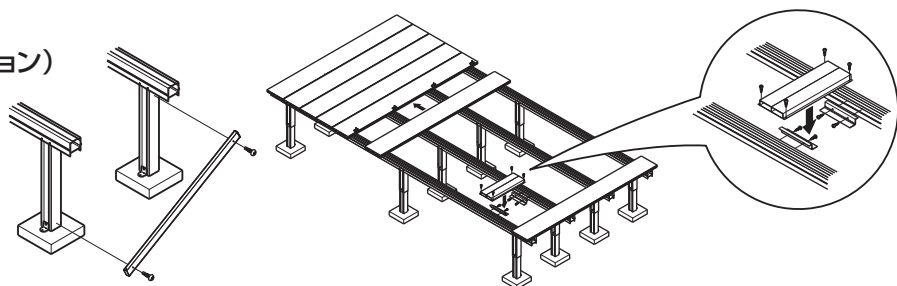
- 束柱・大引きの取付け 10・11

- 2 束柱・大引きの取付け
- 3 床板(両端部)の取付け
- 4 大引きスリーブの取付け



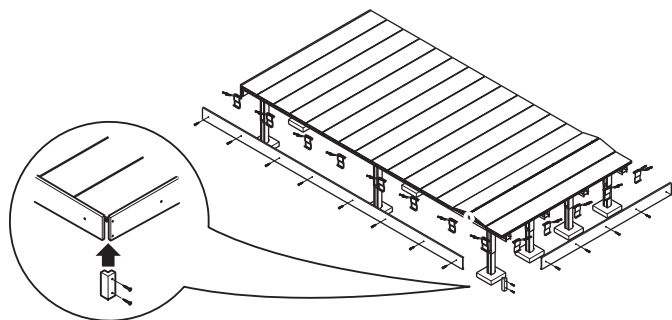
- 筋交い・床板補強材の取付け 12・13

- 5 筋交いの取付け(オプション)
- 6 床板補強材の取付け(オプション)
- 7 床板(中央部)の取付け
- 8 連結部床板の固定



- 床板・幕板の取付け 14・15

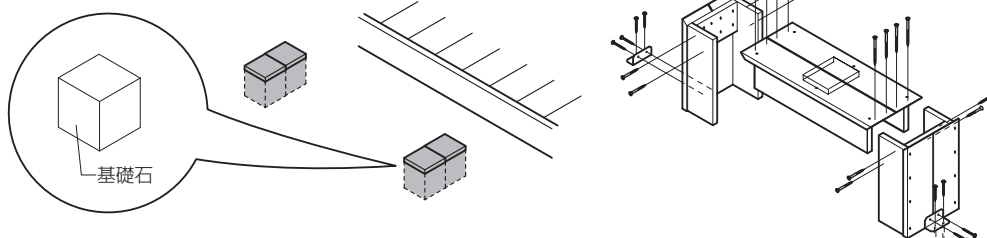
- 9 床板の取付け
- 10 幕板(正面)の取付け
- 11 幕板(側面)の取付け
- 12 コーナーキャップの取付け



(ステップ用)

- ステップの組立て 16

● 組立て詳細

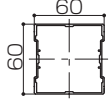
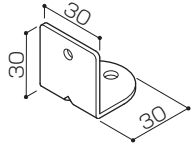
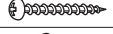



● ステップ納まり図

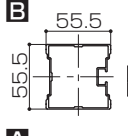
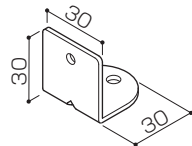
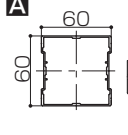
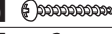





※フェンス用は別冊を参照願います。笠木端部キャップセットに同梱されています。

梱包明細表

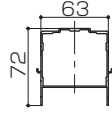
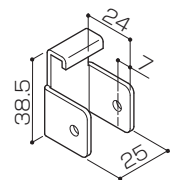

●束柱Aセット

束柱A		束柱固定金具	
A	アルミ  標準370 ロング920	C	ステンレス 
	入数		入数
2本入	2	2本入	2
3本入	3	3本入	3
ねじ類		入数	
		2本入	3本入
ナベセルフタップアンカーφ4×32	b 	2	3
ナベドリルねじφ4×13	a 	10	16

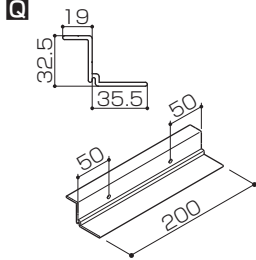
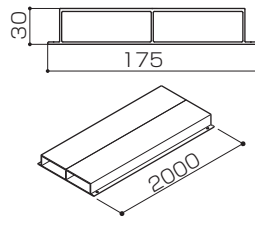

●束柱Bセット

束柱B		束柱固定金具	
B	アルミ  標準300 ロング450	C	ステンレス 
A	アルミ  標準270 ロング420		
	入数		入数
2本入	2	2本入	2
3本入	3	3本入	3
ねじ類		入数	
		2本入	3本入
ナベセルフタップアンカーφ4×32	b 	2	3
ナベドリルねじφ4×13	a 	19	29
六角ボルトM8×20	c 	2	3
六角ナットM8用	d 	2	3
平ワッシャーM8用	e 	2	3
スプリングワッシャーM8用	f 	2	3



●大引きセット

大引き		床板引掛け金具	
E	アルミ  1.0間 1795 1.5間 2695 2.0間 3595	F	アルミ 
	入数		入数
2本入	2	2本入	4
3本入	3	3本入	6
ねじ類		入数	
		2本入	3本入
ナベドリルねじφ4×13	a 	4	6

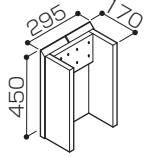
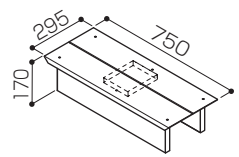


●床板補強材セット

床板補強材受けアングル		床板補強材	
Q	アルミ 	R	アルミ 
	入数		入数
	8		1
ねじ類		入数	
ナベドリルねじφ4×13		a 	35

●連結部材セット

大引きスリーブ	
H	アルミ 
	入数
	1
ねじ類	
ナベドリルねじφ4×13	
a 	8

●ステップセット(H=450)

ステップ 脚部		ステップ 床部	
Sa	木粉入高密度樹脂 	Sb	木粉入高密度樹脂 
	入数		入数
	2		1
ねじ類		入数	
デッキ用ねじφ6×45		m 	8
万能ねじφ4.2×62		n 	8

●床板セット

床板	
D	木粉入高密度樹脂
2本入	入数 2

●幕板セット

幕板	
K	木粉入高密度樹脂
1本入	入数 1
2本入	入数 2

●床板取付け部品セット(60個入)

デッキ材固定部品		補修研磨紙	
E ステンレス	G 樹脂	T	
入数 60		入数 1	
その他梱包			入数
取付け説明書			1
取扱い説明書			1

●床板取付け部品セット(10個入)

デッキ材固定部品	
E ステンレス	G 樹脂
入数 10	

●幕板取付材セット

幕板取付材			
		アルミ樹脂×2	
入数			
1個入	10個入	15個入	
1	10	15	
ねじ類			入数
			1個入 10個入 15個入
皿ドリルねじφ4×40	I	2	20 30
皿ドリルねじφ4×19	K	1	10 15

●筋交いセット

筋交い		筋交いキャップ	
I	アルミ	J	樹脂
入数		入数	
2本入	2	2本入	4
3本入	3	3本入	6
ねじ類			入数
			2本入 3本入
ナベドリルねじφ4×25	H	4	6

●ジョイントカバーセット

幕板B連結キャップ			
L	樹脂		
入数 1			
ねじ類		入数	
皿タッピンねじ(1種)φ4×14		I	2

●コーナーキャップセット

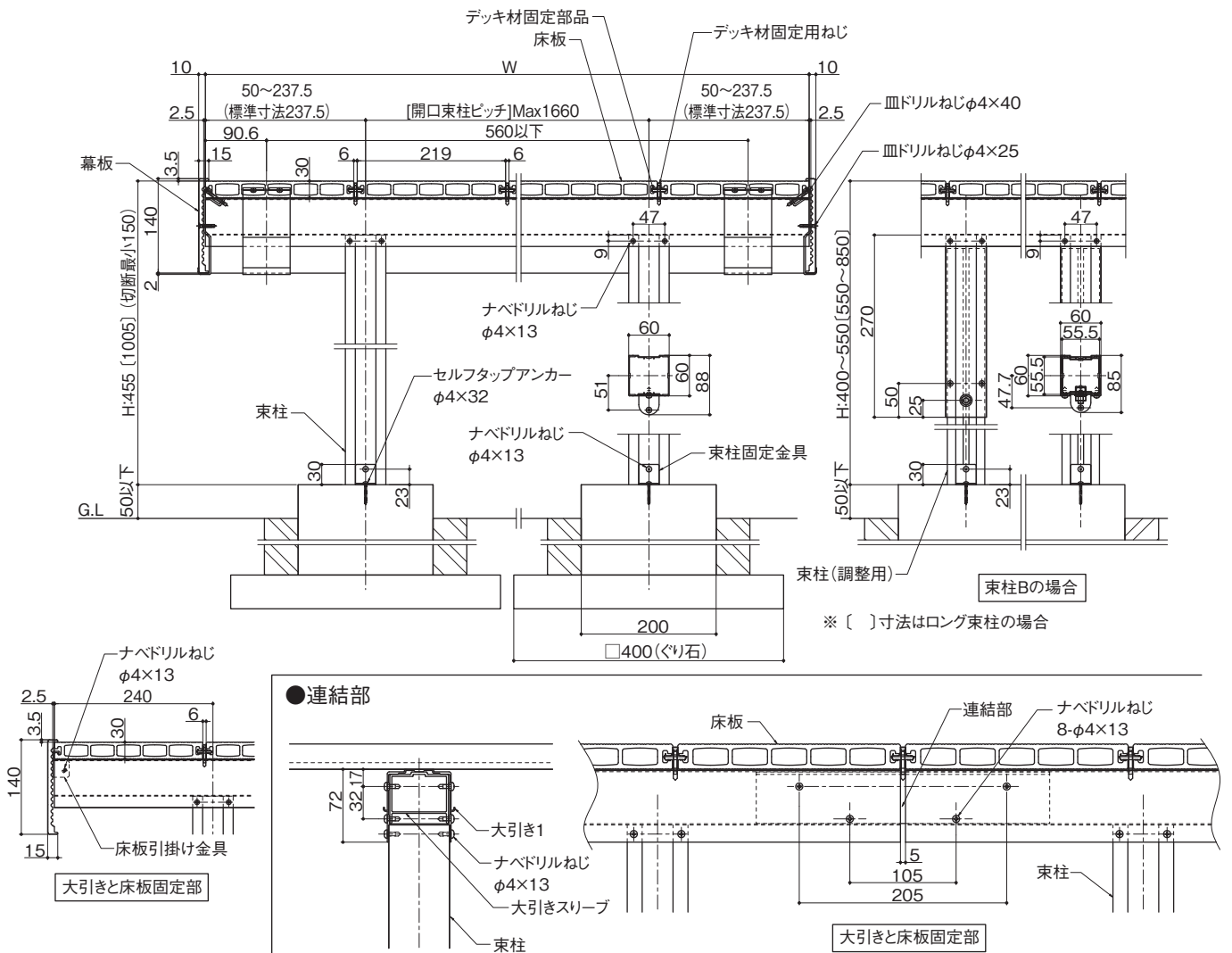
幕板B90°コーナーキャップ			
N	樹脂		
入数 1			
ねじ類		入数	
皿タッピンねじ(1種)φ4×14		Q	2

●入隅コーナーキャップセット

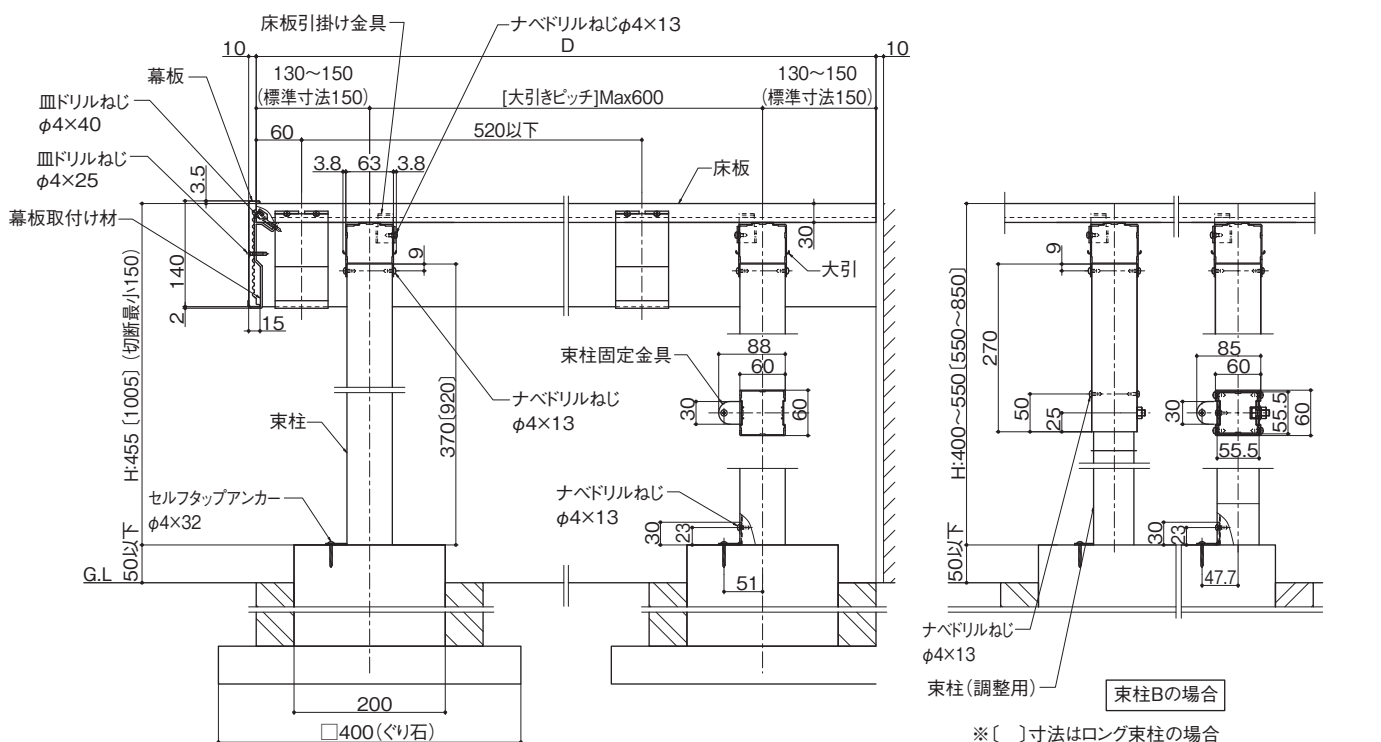
幕板B入隅コーナーキャップ			
P	樹脂		
入数 1			
ねじ類		入数	
皿タッピンねじ(1種)φ4×14		Q	2

基本断面図

■間口方向納まり図（正面）

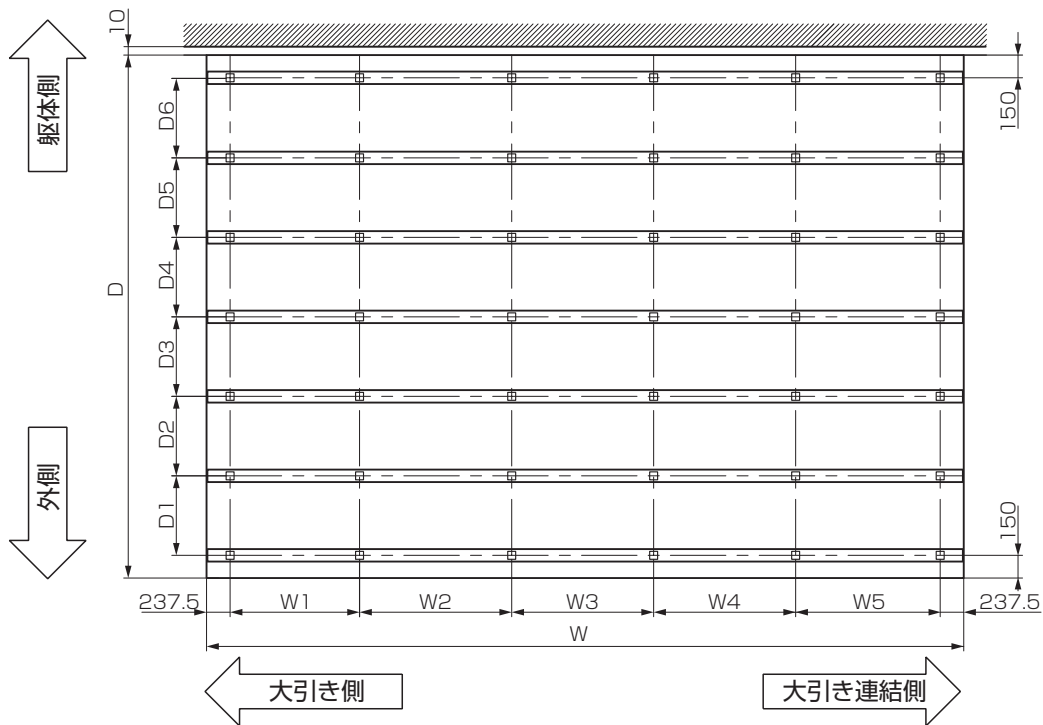


■出幅方向納まり図（側面）



詳細納まり

■基本寸法



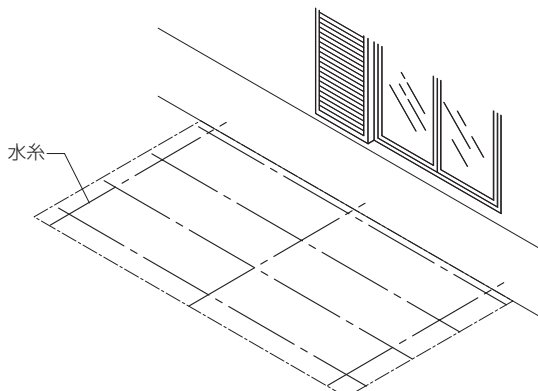
■開口方向寸法

	床板外々 W	幕板 デッキ外々 W+20	束柱 ピッチ	ピッチ寸法					使用大引
				(大引き側) ←		→ (大引き連結側)			
				W1	W2	W3	W4	W5	
1.0間	1795	1815	1	1320	—	—	—	—	1.0間
1.5間	2695	2715	2	1110	1110	—	—	—	1.5間
2.0間	3595	3615	2	1560	1560	—	—	—	2.0間
2.5間	4495	4515	4	1320	480	1110	1110	—	1.0間+1.5間
3.0間	5395	5415	5	1110	1110	480	1110	1110	1.5間+1.5間
3.5間	6295	6315	5	1110	1110	480	1560	1560	1.5間+2.0間
4.0間	7195	7215	5	1560	1560	480	1560	1560	2.0間+2.0間

■出幅方向寸法

	床板出幅 D	幕板 デッキ出幅 D+10	大引き ピッチ	ピッチ寸法						使用床板
				(外側) ←			→ (躯体側)			
				D1	D2	D3	D4	D5	D6	
3尺	890	900	1	600	—	—	—	—	—	
4尺	1190	1200	2	450	450	—	—	—	—	
5尺	1490	1500	2	600	600	—	—	—	—	
6尺	1790	1800	3	500	500	500	—	—	—	
9尺	2690	2700	4	600	600	600	600	—	—	
12尺	3590	3600	6	550	550	550	550	550	550	

■基礎石配置



① 「P.8・P.9 詳細納まり」を参照して、前面・両側面の水糸に寸法出しをし、基礎石の位置を決定してください。

■基本寸法

	1815 1.0間	2715 1.5間	3615 2.0間	4515 2.5間
900 3R				
1200 4R				
1500 5R				
1800 6R				
2700 9R				
3600 12R				

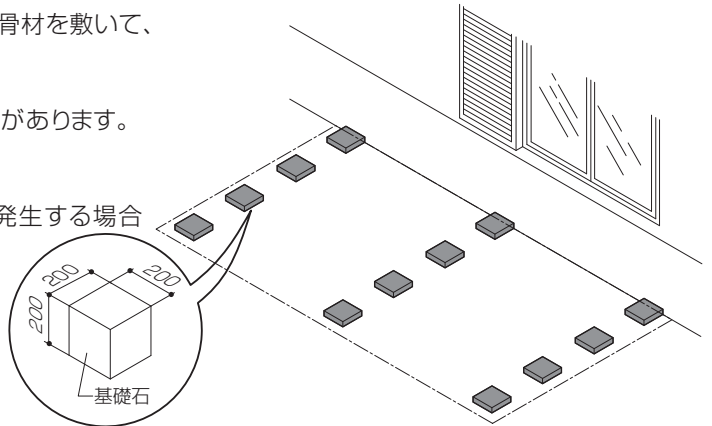
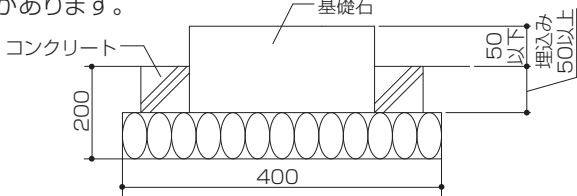
	5415 3.0間	6315 3.5間	7215 4.0間
D=900,10 150 600 150			
D=1200,10 150 450 450 150			
D=1500,10 150 600 600 150			
D=1800,10 150 500 500 500 150			
D=2700,10 150 600 600 600 150			
D=3600,10 150 550 550 550 550 150			

本体の施工方法

■組立て・施工要領図 (1)基礎石の埋込み ⇒ (2)束柱・大引きの取付け ⇒ (3)床板(両端部)の取付け

1 基礎石の埋込み

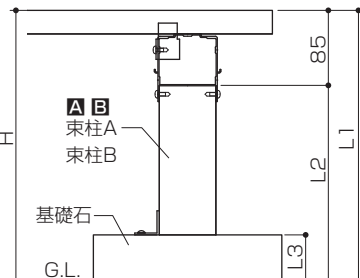
- ①各基礎石の位置を約400mm角、深さ200mmに掘り、骨材を敷いて、基礎石を据えてください。
※本図基礎石は推奨寸法になります。
※この作業が十分でないと、基礎の沈みが発生する場合があります。
- ②基礎石のレベルを出してください。
- ③基礎石のまわりをコンクリートで固めてください。
※コンクリートで基礎を固めないで、基礎の浮き沈みが発生する場合があります。



2 束柱・大引きの取付け

●束柱の加工

- ①デッキ上面高さL1を決定してください。
※デッキ上面高さL1を決めると、L2が決まります。
- ②束柱Aまたは束柱Bを、L2からL3を引いた寸法で切断加工してください。
※束柱Bは高さ調整式で、調整寸法は150mmです。
- ※束柱Bの切断は、柱下部側の下面方向ならびに柱上部側の上面方向より、同寸法で行ってください。

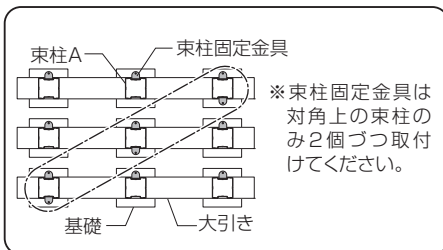


●寸法表

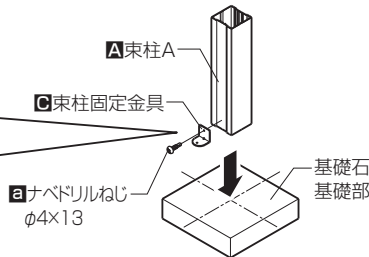
柱種類	束柱最大切詰寸法	デッキH最低寸法
束柱A 標準	305	150
束柱A ロング	855	150
束柱B 標準	各155	250
束柱B ロング	各305	250

●束柱・大引きの取付け

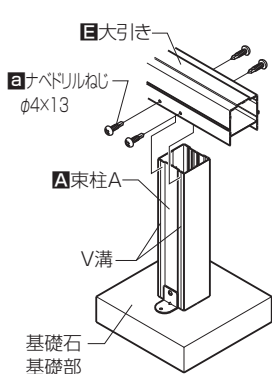
【束柱固定部詳細】



※束柱固定金具は対角上の束柱のみ2個ずつ取付けてください。

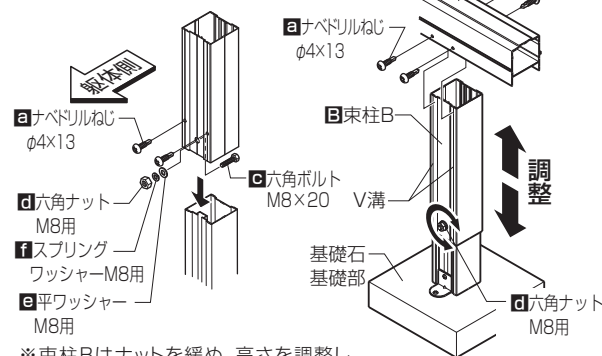


(1)束柱Aの場合



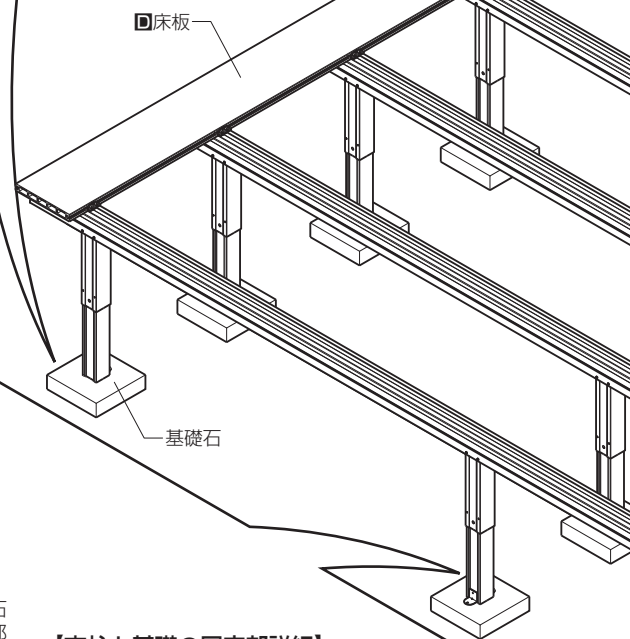
(2)束柱Bの場合

※束柱Bの場合は、ナット部分が躯体側になるように取付けてください。



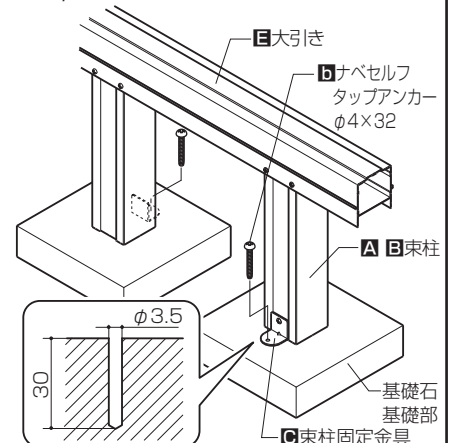
※束柱Bはナットを緩め、高さを調整し、水平・垂直を確認してからナットを締め、V溝にφ4×13ナベドリルねじで取付けてください。

※基礎部材の水平・垂直を確認して取付けてください。



【束柱と基礎の固定部詳細】

- ①基礎石または基礎部にφ3.5で深さ30mmの下穴をあけてください。
- ②束柱固定金具をナベセルフタップアンカーφ4×32で固定してください。



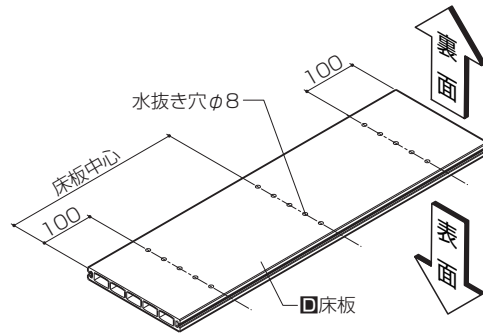
⇒ **4**大引きスリーブの取付け

3床板(両端部)の取付け

●床板の加工

①床板へ水抜き穴 $\phi 8$ をあけてください。穴位置は両端から約100mmの個所と中心部へ(5つのホロー部それぞれにかかるように)穴をあけてください。

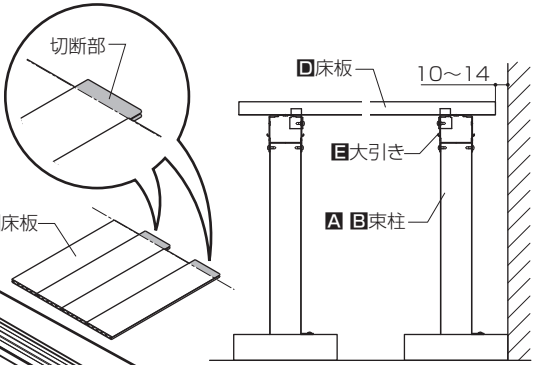
※床面へ水抜き穴をあけるときに表面へ貫通させないように注意してください。



●床板の取付け

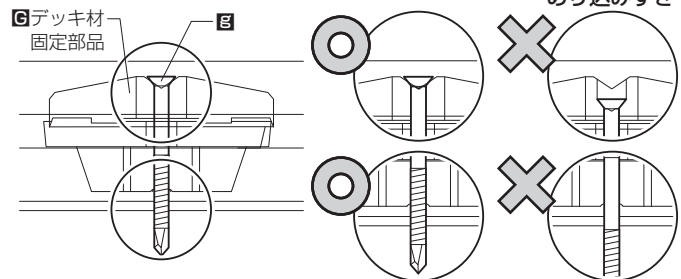
※人工木材は温度変化による伸縮により長さに若干のばらつきがあります。施工前に長さをそろえてからご使用ください。

※躯体と床板端部のすき間を10~14mmにしてください。



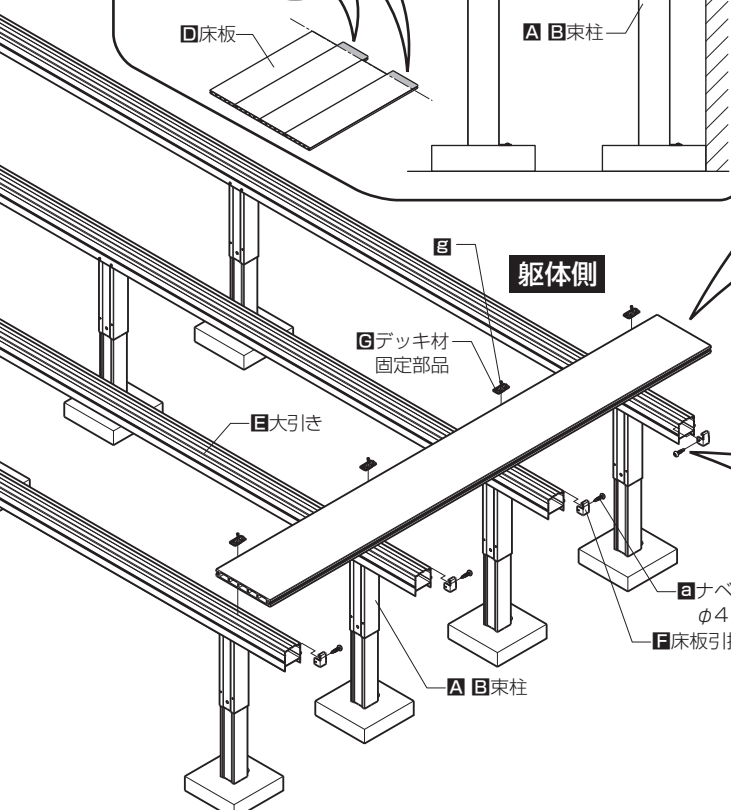
●デッキ材固定部品の注意

※トルクを調整してデッキ固定部品にねじ頭がめり込まないように締付けてください。

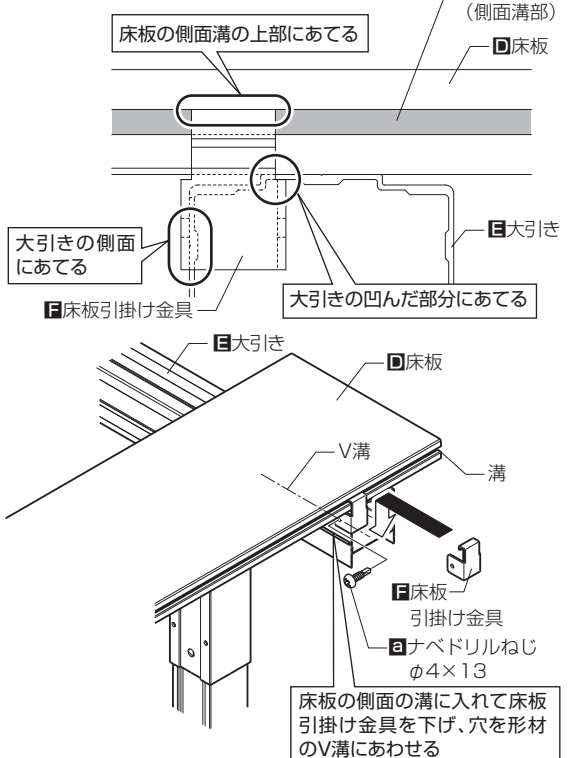


※めり込みすぎるとねじが外れなくなったり、デッキ材固定部品が割れる場合があります。
※デッキ材固定部品は#2の細ビットを使用してください。

お願い
※端部以外の床板の固定は床板をすべて仮配置して大引きに固定してください。

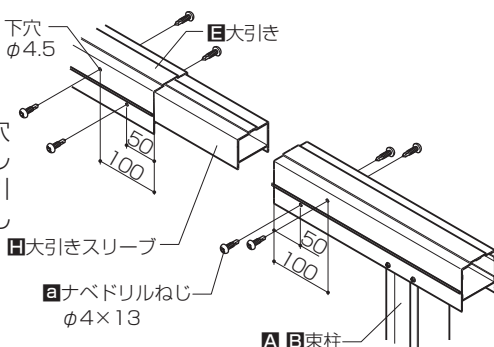


●端部床板固定部詳細



4大引きスリーブの取付け(連結部詳細)

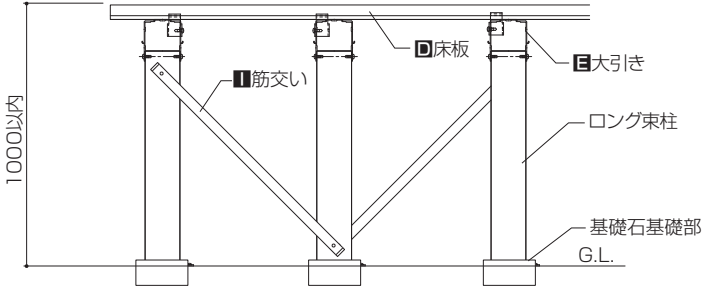
●大引きに $\phi 4.5$ の穴をあけ、ナベドリルねじ $\phi 4 \times 13$ で大引きスリーブに固定してください。



(5)筋交いの取付け(オプション)

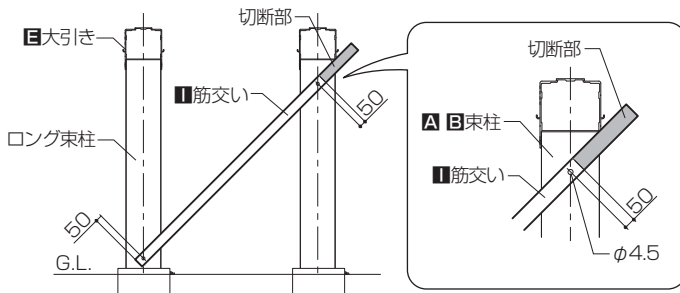
●筋交いの基本設定

※ロング束柱には必ず取付けてください。



●筋交いの取付け

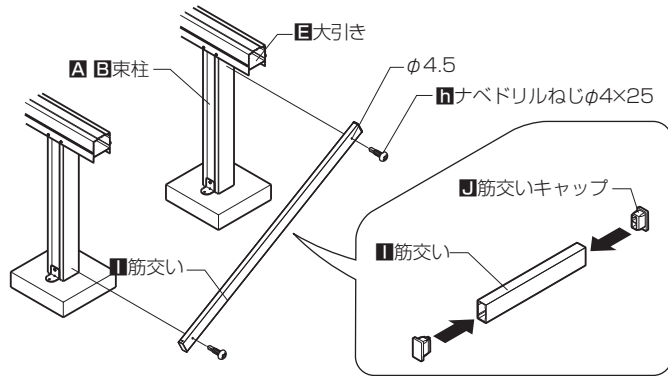
①取付け位置を確認し、束柱の中心から50mm程度で切断してください。



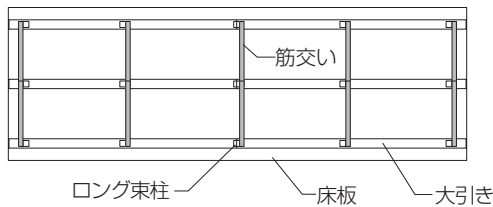
②筋交いの端部に筋交いキャップを押し込んで取付けてください。

③筋交いにφ4.5の穴をあけてください。

④束柱に筋交いを、ナベドリルねじφ4×25で固定してください。



●筋交いの施工実施例



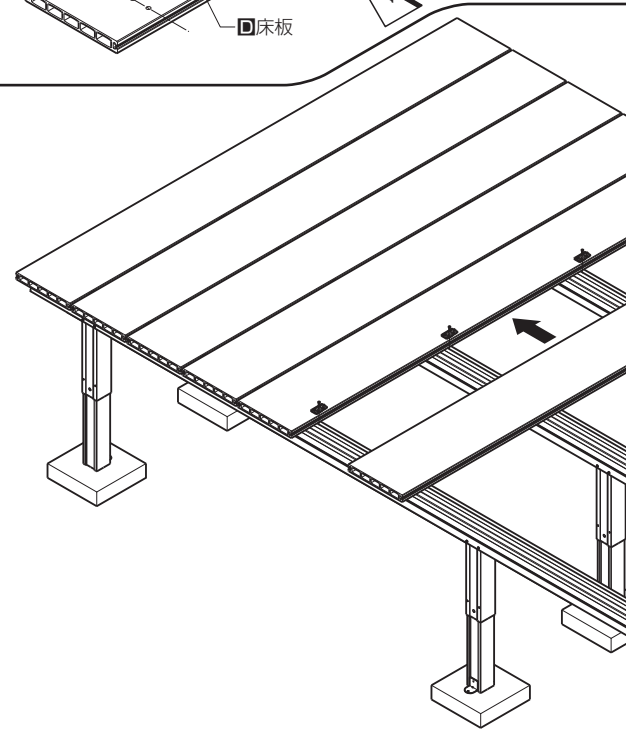
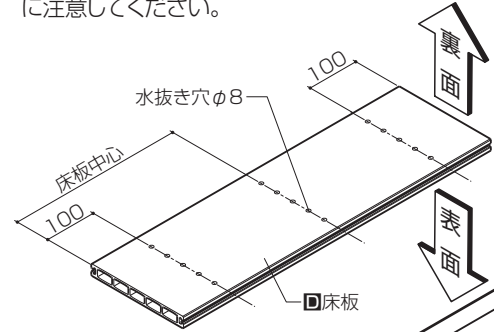
※床板方向に、筋交いを設置してください。

(7)床板(中央部)の取付け

●床板の加工

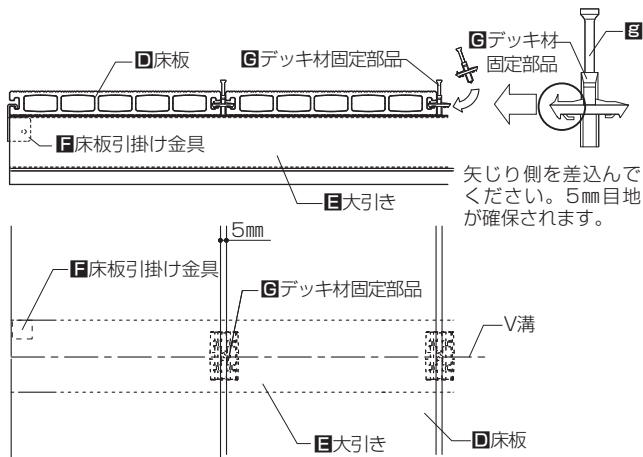
①床板へ水抜き穴φ8をあけてください。穴位置は両端から約100mmの個所と中心部へ(5つのホロー部それぞれにかかるように)穴をあけてください。

※床面へ水抜き穴をあけるときに表面へ貫通させないように注意してください。

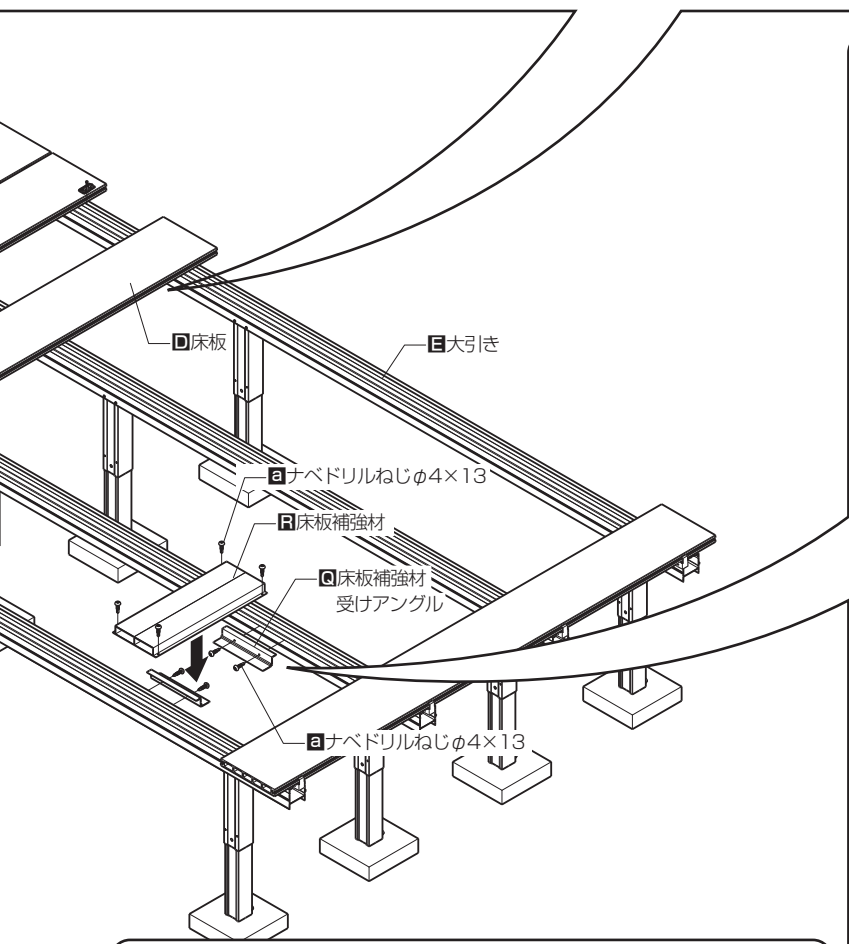


●床板の取付け

- ①床材の溝にデッキ材固定部品を差込み、次に床材を差込んだ後、デッキ材固定部品を挿入してください。
 - ②①を繰り返して全体を敷いてください。
- ※デッキ材固定部品は#2の細ビットを使用してください。

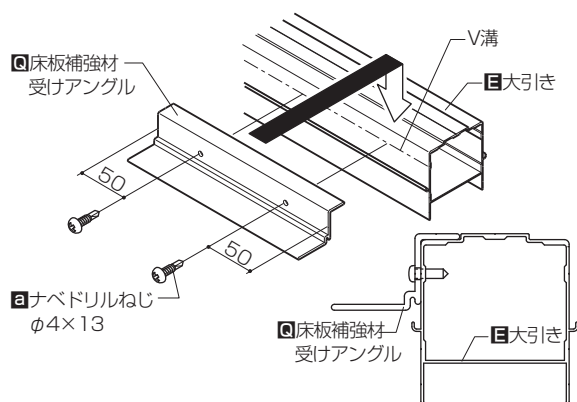


- お願い
- 端部以外のデッキ固定部品は床板を全面敷き詰めてからデッキ固定部品を固定してください。
 - デッキ材固定部品の両側に床板を取付けてください。金具が傾いてしまい、固定ができない場合があります。

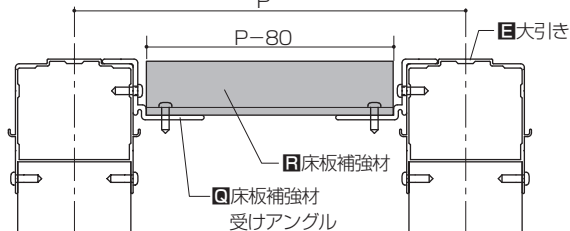


6床板補強材の取付け(オプション)

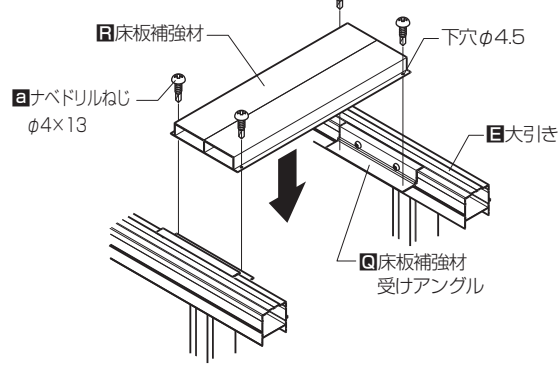
- ①大引きに床板補強材受けアングルを、ナベドリルねじφ4×13で固定してください。



- ②大引きピッチ(P)に合わせて床板補強材を切断してください。

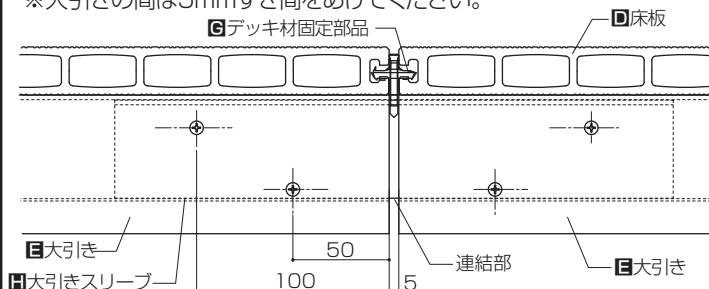


- ③床板補強材1本あたりに4箇所、φ4.5の穴をあけてください。
- ④床板補強材を床板補強材受けアングルにナベドリルねじφ4×13で固定してください。



8連結部床板の固定

- 連結部は床板をのせ、大引きスリーブにデッキ材固定部品でねじ止めしてください。
- ※大引きの間は5mmすき間をあけてください。

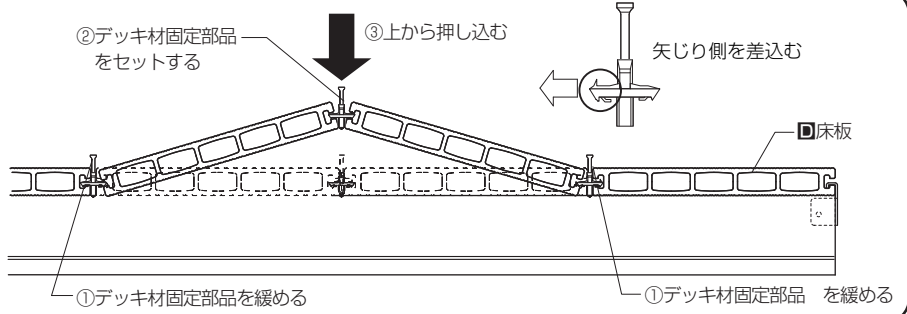


■組立て・施工要領図 【 9床板の取付け ⇒ 10幕板(正面)の取付け ⇒ 11幕板(側面)の取付け

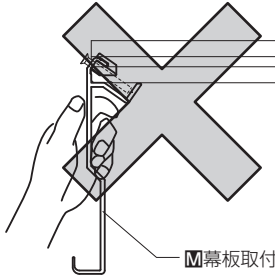
9床板の取付け

お願い

- 端部以外のデッキ固定部品は床板を全面敷き詰めてからデッキ固定部品を固定してください。



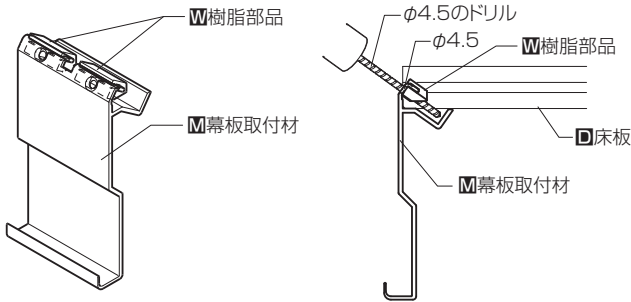
10幕板(正面)の取付け



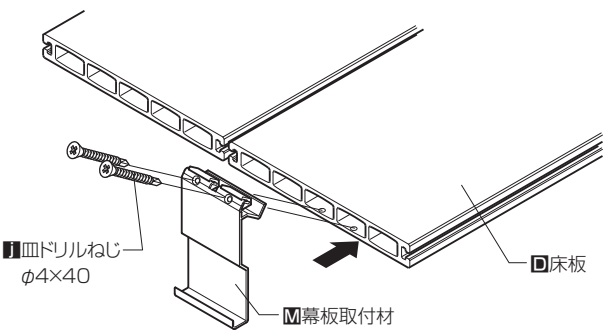
注意

- 幕板取付材の下部を持って、皿ドリルねじφ4×40で固定してください。上部を持つと貫通したねじ先で手をキズつける場合があります。

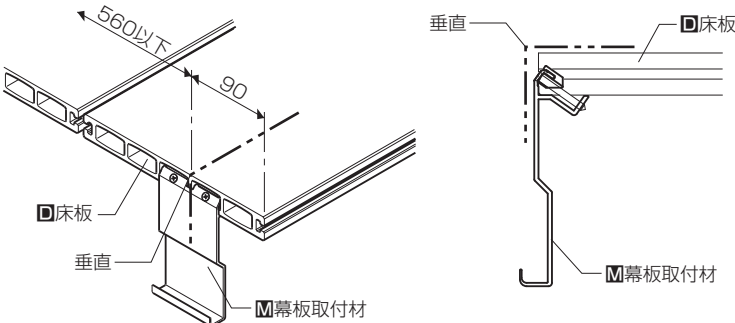
※正面用は樹脂部品を2個つけたまま取付けてください。



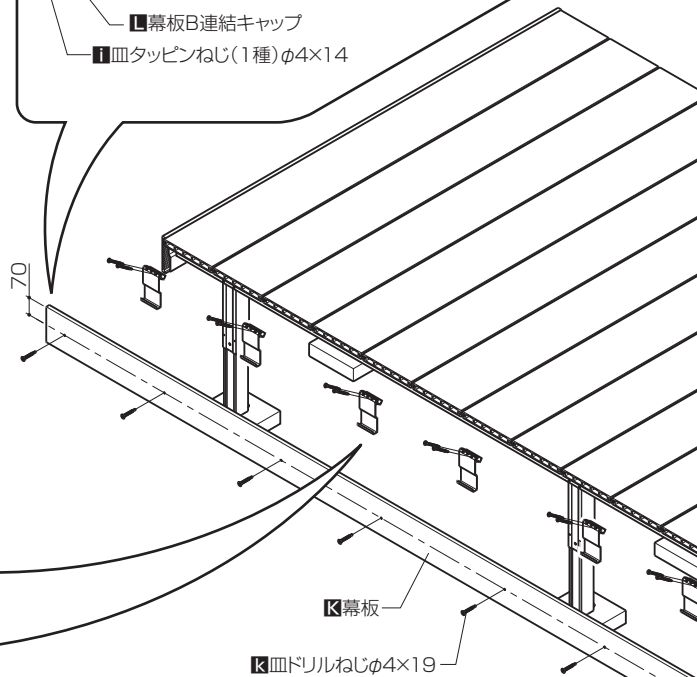
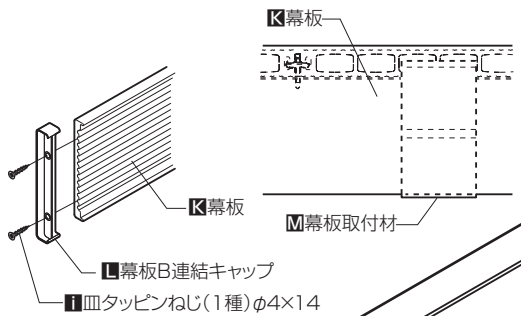
①幕板取付材を床板の中空部にはめ込みます。



- ②幕板取付材を垂直にしてφ4.5の下穴を床板にあけ、ねじ止めをしてください。
- ※床板1枚おきの目安で幕板取付材を取付けてください。
- ※幕板取付材は均等になるように取付けてください。

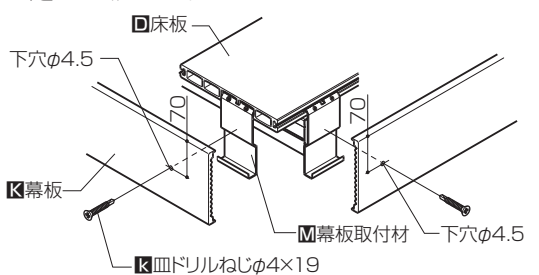


幕板連結部詳細



幕板部詳細

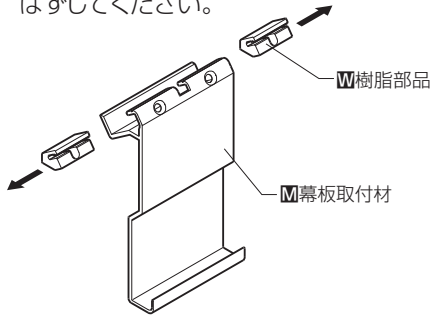
- ①幕板取付材に幕板をのせ、φ4.5の下穴を幕板にあけてください。
- ②皿ドリルねじφ4×19で幕板取付材と幕板を固定してください。



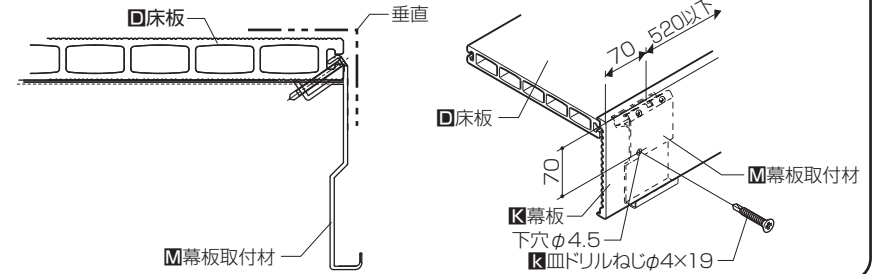
⇒ **12**コーナーキャップの取付け

11幕板(側面)の取付け

※側面用は樹脂部品を2個スライドさせはずしてください。



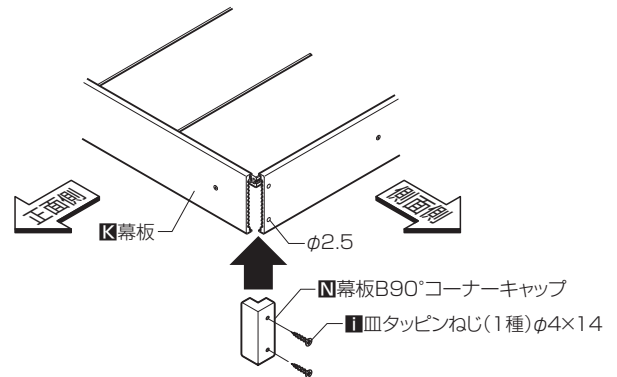
- ①床板の側面の溝に幕板取付材を挿入してください。
 - ②幕板取付材を垂直にしてφ4.5の下穴を床板にあけ、ねじ止めをしてください。
- ※幕板取付材は均等になるように取付けてください。



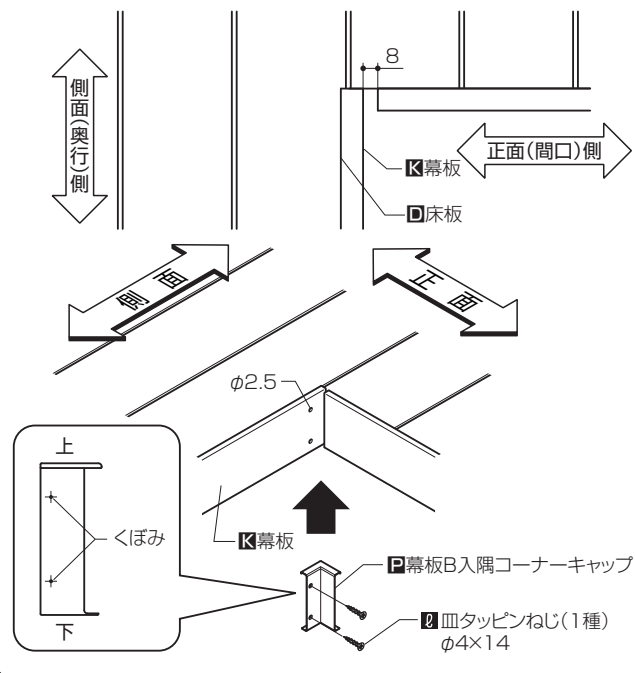
12コーナーキャップの取付け

- ①コーナーキャップを取付ける場所に当てて、φ2.5の下穴をあけてください。
- ※入隅コーナーの場合は奥行き側の幕板を床板端部に合わせて切断し、その幕板へ正面側の幕板を当てて切断し、その幕板へ正面側の幕板を当てて切断します。
- ②コーナーキャップを皿タッピンねじ(1種)φ4×14で取付けてください。

(1) 90°コーナー(出隅仕様)の場合



(2) 90°コーナー(入隅仕様)の場合



※幕板の固定ピッチは、正面端部90、中間560以下、側面端部70、中間520以下で取付けてください。

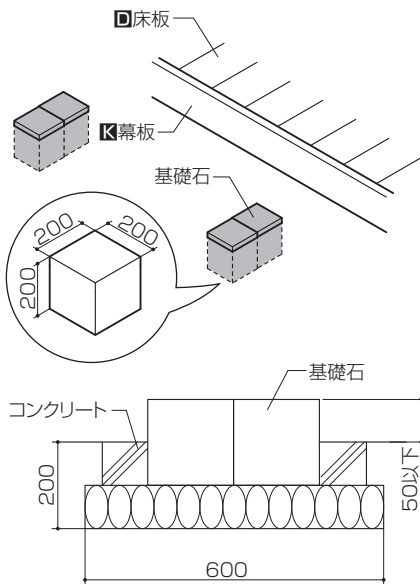
ステップの組立て

■組立て詳細

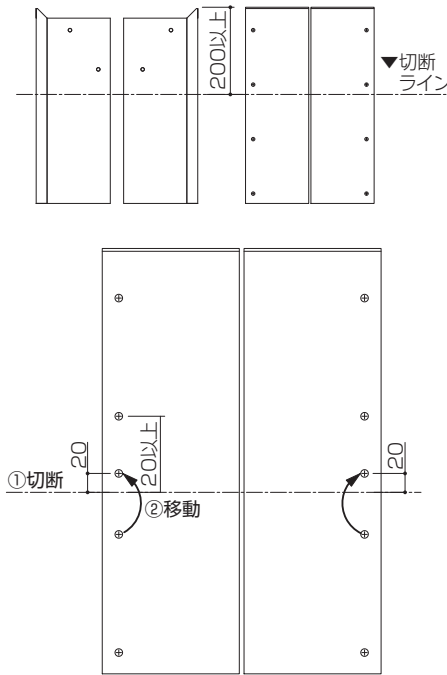
お願い

- 基礎石に平板を使うと平板の浮沈によりステップが変形するおそれがあります。
- コンクリートで基礎を固めないで、基礎の浮沈が発生する場合があります。
- 高さを調整する時はねじをはずして板材にしてから切り詰めをしてください。
- ねじを固定するときはトルクに注意して固定してください。
- ステップを組み合わせる時は脚部のカット部材を使用しますので捨てないでください。

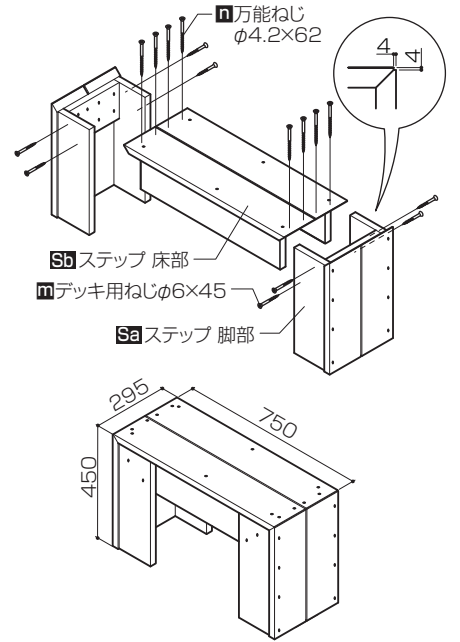
1.基礎石の埋込み



2.ステップの切詰め

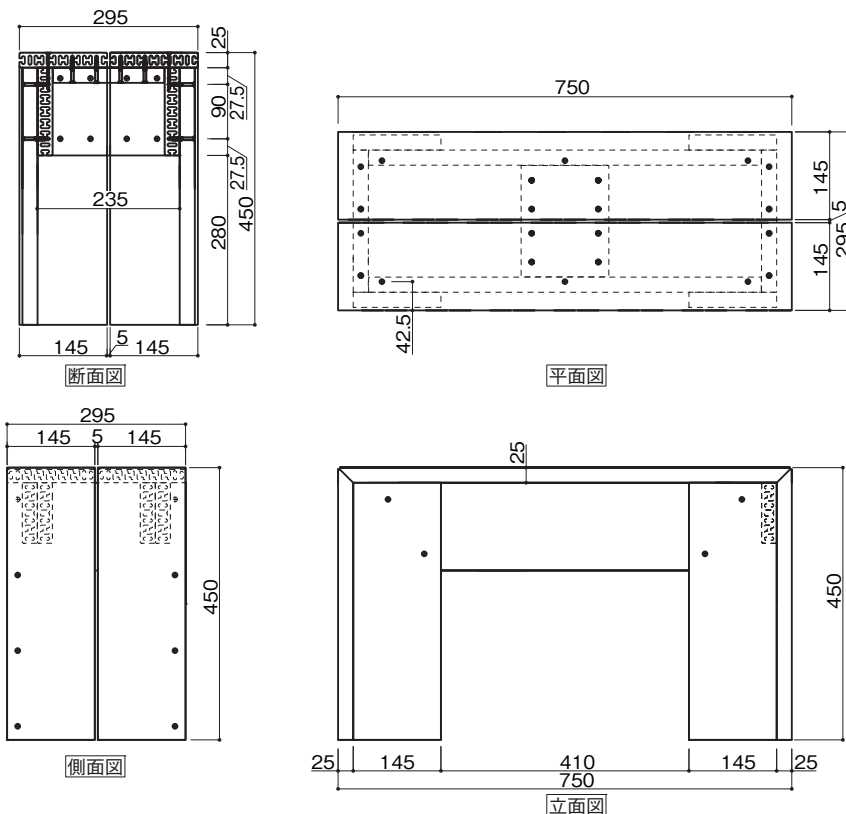


3.ステップの取付け



※ビス打ち時、オーバートルクにならないように注意してください。

■ステップ納まり図



■ステップ 組合せ

※ステップを2台組合わせて使用する場合は、端部カット部材・ねじを使用し、つなぎ合わせてください。

